

東大病院「製薬マネー」の闇

5100万円

逮捕と収賄

最高峰の医療機関に
隠された「処方を買う」
魔法のカラクリ



倫理を逸脱した 過剰接待

月2〜4回

銀座のクラブ・吉原

佐藤伸一 元副院長・皮膚科教授(逮捕・懲戒解雇)

要求されたのは、神聖な研究ではなく「肉欲の限り」



トップ層に集中する巨額資金

実名・実額

4743万円 (整形外科)

3935万円 (リウマチ内科)

3055万円 (糖尿病内科)

2019~2023年度・科長クラスへの
製薬マネー流入



製薬会社の真の狙い 処方を買う 見返りは大衆 ...への処方箋

寄付金による節税や社会的信用は建前。
最大のメリットは「自社の薬をバンバン出させる」こと。



高額薬剤という錬金術

生物学的製剤 新世代薬

整形外科：リウマチ・骨粗鬆症薬

消化器内科：レミケード、ヒュミラ等

高額かつ多数の患者が関わる科へ、
ピンポイントで賄賂が投下される。



お金が向かわない場所

検査部は約11万円 処方権の有無

同じ教授陣でも、高額薬剤を直接処方しない領域には資金が流れない。

これが「純粋な研究支援ではない」
何よりの証拠。



私たちに迫る最大の危機

架空の病氣

サブスクの患者

接待のツケを払うのは誰か？

無意味な検査、過剰な診察、

そして高額な薬漬けにされる私たち。



透明性という自己防衛

実名全公開

製薬マネーデータベース

医療の中立性を監視せよ。

公開データを武器に、ヤク漬けの医療から自分の健康と命を守り抜く。

